

令和4年度 みどりの保育園 保育士の自己評価について

保育士が自己評価することで

- ☆ 保育士が自らの保育を自己点検・評価する（見直す）ことによって、保育内容の質の向上に努めることができる。
- ☆ 多様なニーズに対応したきめ細やかな保育サービスの提供のあり方等について検討課題を得ることができる。
- ☆ 保育園の保育内容を開示することによって、社会に保育園保育及び保育園の存在理由を理解してもらうことができる。

以上の効果が期待されます。

1.実施期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

2.評価機関 ◎ よく出来ている
 ○ ほぼ出来ている
 △ 努力が必要

3.評価内容と結果

（実施した保育士 15名）

項目	評価内容	◎ (%)	○ (%)	△ (%)	評価（改善策）
保育理念	すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重している	66.7	33.3	0.0	人権を否定するような事はせず、丁寧に関わっている。
	一人ひとりのありのままの姿を受け入れることができる	66.7	33.3	0.0	一人ひとりの事を把握し、受け入れている。
保育計画	園の方針を理解して、保育計画を立てている	33.3	66.7	0.0	より園の方針を理解できる様、保育士間でコミュニケーションをとっていく。
	園の保育目標を理解して、クラスの年間目標を立てたか	30.8	69.2	0.0	子どもの姿に合わせて目標を立てている。
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育計画を立てた	23.1	69.2	7.7	子どもの姿の理解に努め、段階を考え保育計画を立てるよう心掛けた。
保育実践	園の保育方針を理解し、実践しようと努めている	33.3	66.7	0.0	日々意識して、実践していく。
	年間保育目標を意識して保育に組んでいる	20.0	53.3	26.7	こまめに見直し、意識していく。
	『目指す子どもの姿』を実現できるよう保育に取り組んでいる	20.0	66.7	13.3	子どもの育ちを理解しながら、実践できる様心掛けている。
環境づくり	子どもの発達を促すための環境づくりを心がけている	33.4	53.3	13.3	発達について把握・理解し、環境を作っている。
	玩具・遊具については必要に応じて消毒したり、衛生面に配慮する	46.7	46.7	6.6	こまめに消毒し、清潔を心掛けている。

項目	評価内容	◎	○	△	評価（改善策）
環境づくり	子どもの姿を見ながら、臨機応変・計画的に環境づくりを行っている	53.3	46.7	0.0	子ども達の体調やその日の気分を受けとめ、臨機応変に保育している。
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている	53.3	46.7	0.0	過ごしやすい保育環境を作る為、日々の整理整頓に努めている。
健康支援	子どもの日々の健康状態を把握し、保育している	46.7	46.7	6.6	登園の際視診を行い保育中も体調に留意している。
	子どもの体調不良や怪我などの情報を職員間で共有している	53.3	46.7	0.0	職員間で子どもの様子を伝えあい、報連相をしっかりと行っている。
子どもとの関わり	一人ひとりを大切にして関わっている	73.4	13.3	13.3	子ども達一人ひとりを大切に保育する様努めている。
	一人ひとり思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている	46.7	46.7	6.6	話を聞き、丁寧に受け止める事を大切にしている。
	一人ひとりの子どもの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている	40.0	46.7	13.3	見通しを持って関わられる様努めている。
	一人ひとりの子どもの話を聞き、丁寧に関わっている	33.3	66.7	0.0	子どもに目線を合わせ、しっかり耳を傾けていった。
保護者対応	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている	46.7	53.3	0.0	笑顔で挨拶を心掛け、保護者の方に寄り添えるようコミュニケーションを取っていきたい。
	送迎時に子どもの姿を伝えている	33.3	60.1	6.6	その日の様子や頑張った事、出来るようになった事を伝えている。
	一人ひとりの保護者と必要に応じて個別に面談を行っている	16.7	33.3	50.0	面談が必要な際は実施している。
事故防止安全対策	遊具の安全点検を行い、破損・不具合の箇所は、必要に応じて対策をとっている	50.0	50.0	0.0	週に1回、安全点検を行い、日々の保育中にも破損等があれば報告している。
	子どもが危険な場所や遊びがわかり、安全に気をつけて行動するよう働きかけている	46.7	53.3	0.0	危ない所、怪我の多い場所は、保育士が側で見守っている。
職員の資質向上	園の内外における研修に積極的に参加している	35.8	57.1	7.1	その様な機会が沢山あり、参加している。
	保育士の人間性が子どもに与えることを自覚して、研修に励んでいる	28.6	64.3	7.1	子どもへの影響がある事を意識して、研修に励む。

よく出来ている・ほぼ出来ているを合わせると100%になる項目が多いが、自信を持ってよく出来ていると評価できる様努力すると共に、低い評価だった項目は、今後職員間で話し合う機会を設け、改善できる様努めていきたい。